

北海道道の駅紹介

おんねゆ温泉

担当者からのおすすめ情報

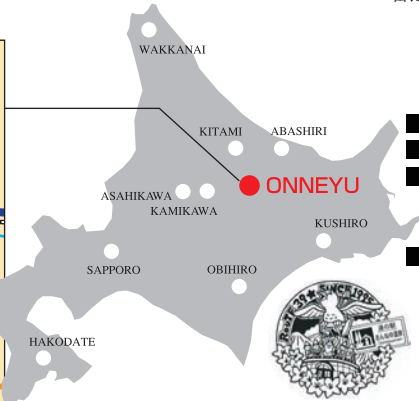
「山の水族館」のリニューアルで 来場者40万人突破!

北見市(旧留辺蘂町)の国道39号沿いにある道の駅「おんねゆ温泉」は、大雪観光圏と阿寒・網走知床観光圏を結ぶ中継地点。昨年夏、道の駅内に「山の水族館」がリニューアルオープンしました。



私がお答えします!

留辺蘂総合支所産業課 商工観光担当
山本 祥司さん



- 住所／北見市留辺蘂町松山1-4
- TEL／(0157)45-3373
- 開館時間／
9:00～17:00(4～10月)
9:30～16:00(11～3月)
- 休館日／
無休(4～10月)
毎週月曜日、第1・3火曜日(11～3月) ※祝日の時は翌日
年末年始(12/28～1/1)

■「山の水族館」

2012年7月7日に道の駅内に移転・リニューアルした水族館です。テーマは「北の大地の水族館」。滝つぼを下から見上げる「滝つぼの水槽」や、冬になると寒さで河川が凍る様子を再現する「北の大地の四季」水槽など画期的な展示水槽が人気です。



■ 併設施設「クリーンプラザ・おんねゆ」



清潔なトイレを備えた休憩施設で、ホールには大型モニターが4基あり、周辺の道路状況をリアルタイムに参照することができます。

また、観光施設パンフレットも配置されているので、休憩しながら道路状況に合わせた観光ルートを設定することができます。

■ 「果夢林(かむりん)の館」

留辺蘂地区名産の白花豆を使った甘納豆「白花美人」をはじめ、各種土産品を取扱う「果夢林ショップ」、木製遊具を揃えた遊園地「果夢林ワールド」、クラフトが体験できる「クラフト体験工房」の3つからなる施設です。果夢林ワールドには「木の宮殿」や「木の釣り堀」、「木製らせん滑り台」などがあり、特に「木の砂場」は幅広い層からの人気を集めています。



■ 入館料

一般670円(510円) 中学生440円(370円) 小学生300円(200円)
※()内は団体割引価格20名様より

■年間パスポート……………一般 1,000円 中学生660円 小学生450円

■ 「からくり王国」

道の駅の東側に隣接し、そばやうどん、ラーメンなどの軽食やあげいも、生牛乳など北海道らしいメニューが並びます。特に、アイスクリーム専門店「クレアート」のソフトクリームは絶品、なかでも「海洋深層水ソフト」は塩味が甘みを引き立たせ、素材のおいしさを味わうことができます。

Q 「山の水族館」の見どころ、人気コーナーは？

A おすすめは何と言っても「いただきますライブ」です。生きているニジマスなどを餌に与え、より自然に近い形のダイナミックな捕食を見せるイベントで、イトウやピラルクーなどの巨大魚が俊敏な動きであつという間にニジマスを食べる様子はとても迫力があります。また、「北の大地の四季」水槽も見どころです。普段は強力なポンプを用いて北海道の急流を再現していますが、冬になると厳しい寒さにより凍りついた川を見ることができます。凍りついた川の下で、魚たちは一体どのように暮らしているのか。ぜひご来館して確かめてください。 ▼「いただきますライブ」でニジマスを捕食するイトウ



滝つぼを見上げる水槽では、滝つぼの激流の中で懸命に泳ぐヤマメとオショロコマから、野生の力強さや自然界で生きる生命の強さを感じ取ることができます。入館してすぐ目に飛び込んでくる幻想的な風景は、訪れた人たちが足を止めて見入ってしまうほどです。

Q リニューアルにあたって、苦労した点は？

A 一番苦労したのは、限られた予算と冬の厳しい寒さです。予算が豊富であれば巨大な水槽やトンネル型・ドーム型など様々な水槽を設置できますが、限られた予算の中でどうやって魅力的な水族館にするか、という点において私たちは頭を悩ませていました。そこで、思い切って日本唯一の水族館プロデューサーである中村 元氏に相談をしたところ、中村氏は「工夫次第でできる」と答えてくれました(ボランティアのような薄謝で引き受けいただきました)。しかし、水族館職員がたった3人で、魚に対する学識を持った人がいない当然建設を引き受けた地元の業者も水族館を建てたことがないなど、予想外の事態に直面するうちに「引き

受けないほうが良かったかも」と考えたそうですが、乗りかかった船ということで、リニューアルまで監修及びプロデューサーとして携わっていただきました。

Q イベントや体験内容を教えてください。

A 「果夢林の館」の中にある「クラフト体験工房」では専属のインストラクターが常駐しているので、木工クラフトを誰でも気軽に楽しむことができ、木のぬくもりや手作りの楽しさを体験することができます。

山の水族館では「おんねゆ温泉まつり」(毎年8月第1日曜)やクリスマスにあわせ、営業時間の特別延長(20



時まで)を実施。お祭り風の装飾やクリスマス時のイルミネーションなど普段とは違う水族館と、夜行性の魚が活発に動く様子を見ることができます。

Q 周辺のおすすめ観光スポットは？

A 「おんねゆ温泉郷」は泉質の良さが自慢であり、古くから「美肌の湯」として知られています。また、温泉郷のほぼ中心部に位置する「温泉ゆめ広場」には、あずま屋や足湯が整備されており、無加川を挟んだ対岸には溢れた温泉が流れ落ちる「滑滝(なめたき)」を見ることができます。8月にはこの広場を中心として「おんねゆ温泉まつり」が開催され、神輿を担いだ若者たちが無加川を練り歩く「神輿川渡御」や同時に打ち上げられる花火の見物客で賑わいます。



Q 最後に、読者へのメッセージをお願いします。

A 「山の水族館」は北の大地の自然の魅力を凝縮した水族館です。滝つぼを下から見上げる日本初「滝つぼの水槽」に始まり、世界初の冬に凍る「北の大地の四季」水槽や約40匹もの天然イトウが泳ぐ「イトウの大水槽」など、見どころいっぱいです。温泉で冬期間養生することにより、大きく綺麗に育った巨大熱帯魚たちも魅力です。そして最後はもちろん温泉です！おんねゆ温泉郷自慢のお湯で、ゆっくりとおくつろぎください。年齢を問わず楽しめるスポットが満載の道の駅「おんねゆ温泉」へぜひお越しください。お待ちしております！